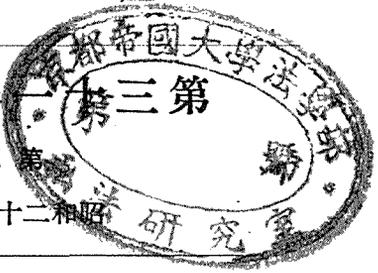


大正五年四月六日第三種郵便物認可 昭和二十二年五月十日印刷納本（毎月一回一日發行）

# 哲 學 研 究



第 三 卷 第 三 册

第 三 百 六 十 號

昭和二十二年五月二十日發行

美の批判（承前）……………文學博士 植田壽藏

內證傳達の様式……………文學博士 石津照鹽

——天臺教相論の解釋——

社會法の性格……………法學士 磯村哲

——近代民法と社會法——

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部  
京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
  - 一 毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
  - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
  - 一 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年百二十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	澤瀉久敬
文學士	重澤俊郎
文學博士	島芳夫
文學士	園原太郎
文學博士	西谷啓治
文學士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學士	井島勉

へられなければならぬといふことである。直接的な宗教的事實に於ては如何やうかの成立性規定性に於てある宗教的存在者の立てられてをるのが普通であり且つ當然である。根據の場面からこのやうな領域へと経戻つて來る徑路に於ては、本門の三身論のごときはこの間を關係づける最も有力な指示を與へるものであると考へられるのである。恰かもこのことを考へ併せるならば、とくに成立の宗教宗旨として發揮せられる日本天台や日蓮教學に於て、本門の解釋が宗旨の教判の上に極めて重きをなす所以が當然の成り行きのやうに思はれる。しかし未だわれわれの問題はそこに移つてはゐないことをことわつておきたい。

註

- (一) 玄義、一〇ノ下、二(三三、808 中)以下。
- (二) 玄義、一ノ上、7b、二ノ上、36a (三三、682 中、695 中)、更らに同上、一〇ノ下、12a 以下、32a 以下 (三三、809 上以下、811 中以下) 等。なほ二首題、一、38 以下参照
- (三) 玄義、一ノ上、38b 以下、一〇ノ上、5a—16b、九ノ下、9a、13a、22a 以下、30a、31a、35b—47a (三三、683 上以下、800 中、801 上、795 上—下、796 下以下、797 中以下、798 上—800 上、等参照。

内證傳達の様式

- (四) 玄義、一ノ上、32b (三三、683 中)。
- (五) 玄義及び釋籤、一ノ上、30b (三三、681 上、835 下) 以下。
- (六) 玄義、一ノ上、41a 以下、九ノ下、13b (三三、684 上以下、795 下)。
- (七) 玄義、七ノ上、30a 以下、釋籤、同上、33b (三三、764 中以下、919 下以下、918 上)。

前	號	目	次
植田 壽藏	.....	美の批判(案前)	
相原 信作	.....	譯せられてゐるもの	
野田 又夫	.....	科學とヒューニズム	
	.....	——問題の素描——	

# 會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房  
内京都哲學會保宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ  
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
  - 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務  
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
  - 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」  
宛ニ御拂込被下度候
  - 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ヲ印章押捺致ス  
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
  - 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌  
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候
- 京都帝國大學 京都哲學會  
文學部内
- 註 文 規 定
- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する  
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
  - 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り  
下され度候
  - 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券十錢  
御送付下され度候

昭和二十二年五月十日印刷納本  
昭和二十二年五月二十日發行

編輯人 京都哲學會

京都帝國大學文學部内

右代表者

澤 瀧 久 敬

發行兼印刷人 八坂淺太郎

東京都神田駿河臺四ノ四

印刷所(京都七弘) 弘文堂印刷部

京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社

東京都神田淡路町二ノ九

發行所 弘文堂書房

東京都神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數		定 價		郵 稅	
一冊	十圓	一冊	十圓	金五十錢			
六冊(前金)	六十圓	六冊(前金)	六十圓	金三圓			
三冊(前金)	百二十圓	三冊(前金)	百二十圓	金六圓			

(誌代の變更による會費の過不足は  
半年又は一年毎に精算いたします)